

平成25年度 「地域共生プロジェクト」実践概要

1 学校の概要

本校は、来年度創立100周年を迎える歴史と伝統のある学校である。平成8年度より南予唯一の総合学科の高校として多様な科目を配し、生徒一人一人の興味・関心・進路に応じた授業を選択することができる。また、学校内外を問わず地域との交流事業やボランティア活動に参加する機会が多く、授業、特別活動、部活動などあらゆる場面で積極的にボランティア活動を行っている。

2 実践のねらい

地場産業を体験する活動や園児、児童、高齢者との交流、地域への奉仕活動などを通してコミュニケーション能力や自己肯定感を育成させる。さらに、交流の機会を多く持つことで地域との連携を密にし、安全・安心な学校づくりに協力を得るとともに、地域になくてはならない学校として一層の充実を図る。

3 実践の内容

(1) 全校生徒による実践

- | | | |
|---|------------------|------|
| ア | 清掃ボランティアでの地域貢献活動 | 5月実施 |
| イ | 川之石保育園との合同防災退避訓練 | 6月実施 |

(2) ホームルーム活動による実践

- | | | |
|---|---------------------|--------|
| ア | 老人ホームを訪問しての清掃活動、交流会 | 2月実施予定 |
|---|---------------------|--------|

(3) 授業を通しての実践

- | | | |
|---|-----------------------|-------------|
| ア | 懸崖菊鑑賞交流会（農業・福祉） | 11月実施 |
| イ | 農業体験活動（産業社会と人間） | 11月実施 |
| ウ | 園児・児童との農業体験ふれあい交流（農業） | 年間を通して実施 |
| エ | 地域給食サービス事業への参加（福祉） | 6・9・11・2月実施 |



4 成果と課題

どの事業も一過性のものではなく、毎年継続して実施されており、回を重ねるごとに改善されてきている。中には年間の恒例行事として高校生との交流を楽しみにしていただいている地域の方もおり、笑顔で参加されている様子が印象的であった。生徒たちも積極的に地域の方々との交流を図り、楽しみながらコミュニケーションを深めることができた。

その結果、地域行事やイベントで本校生徒に参加の声がかかることが多くなってきた。内容も農業科目の物品販売、吹奏楽部の演奏、書道部による書道パフォーマンス、演劇部の公演、夏祭りやイベントのボランティアスタッフ、公園の清掃活動など多岐にわたっている。こうした交流を通して学校だけでなく、生徒個人、教員個人が、地域になくてはならない存在になりつつあることを実感することができた。さらに、3年次生が取り組む卒業研究では、地域理解を深め、活性化させるために、まちづくりの方策を研究し、地域の方々にヒアリングを行うなど主体性を持って交流を図る生徒も現れた。

今後も学校が地域からいっそう愛される存在となるよう、活動内容を充実させ、学校内外において確かな人間関係を構築し、豊かな感性を育むことができるよう、工夫を重ねていきたい。